

平成28年度 城東区運営方針 自己評価

1年間の取組成果と今後取り組みたいこと

全体的に各戦略にもとづく取組は予定通り進捗しており、各取組において目標値をおおむね達成している。

まちづくりの分野では、地域活動協議会の積極的な情報発信への支援を行った。また、ゆめ～まち～未来会議の活動支援やアイラブ城北川実行委員会と協働した取組の実施、音楽、スポーツ、緑化活動などについて、関係団体等と連携しながら取組を進め、参加者も多く、いずれも満足度は非常に高い。引き続き、区民主体の取組が継続的に実施されるよう、新たな担い手、参加者の掘り起こしを行っていく。

福祉・健康分野においては、子育て支援の情報発信の強化や保育施設の募集等を実施し、子育て支援の取組を強化した。また、地域における見守りの取組や、地域包括ケアシステムの構築については、地域や関係機関と連携を深めながら順調に進んでいる。学習会の実施については、モデル実施校において成果も出ており、学校、地域等と連携、調整を行い、事業の拡大に取り組む。

防災については、防災訓練の実施や出前講座の実施により、地域における防災意識が高まってきている。防犯については、街頭防犯カメラの設置を進め、子ども見守り、青色防犯パトロール車での地域巡回などの地域防犯活動により、街頭犯罪は減少傾向にある。今後とも継続した取組により犯罪発生件数の減少を図る。

区政運営については、窓口サービスの格付けにおいて、2つ星を2年連続で獲得できた。今後も信頼される区役所をめざし、迅速、正確、丁寧な窓口サービスを努めていく。

解決すべき課題と今後の改善方向

子育て支援の取組みの中でも、特に待機児童対策については、小規模保育事業所の開設など、解消に向けた取組を行ってきたものの、前年度を上回る待機児童が発生しており、平成30年4月の待機児童〇に向けて、解決しなければならない喫緊の課題となっている。待機児童の解消に向けて、空いている公共施設等、公有財産の活用を行い、より多くの認可保育所等の事業者公募を行うとともに、区内の一時保育事業や幼稚園の預かり保育等についても積極的に周知PRを行い、区を挙げて待機児童解消に取り組んでいく。

また、区民のみなさんに信頼される区役所をめざすには、コンプライアンスの確保は重要な課題であることから、区役所における不適切事務処理事案が発生しないよう、事案が発生した場合には問題点を洗い出し、改善策を講じるとともに、他区の事例を参考に区の事務処理方法を検証するなど、発生を未然に防ぐ仕組みの検討に取り組んでいく。